○５月の人権に関する月間・週間・記念日　「児童福祉週間(5/5~11) 」　５月５日の「こどもの日」から１週間、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的としています。

十島村教育委員会だより　平成 30 年４月号

# むらやまカーカラ情報

南北１６０㎞　「心をつなぎ　気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒 892-0822 鹿児島市泉町 13 番 13 号
TEL　099-227-9771

## ４月・・・新船「フェリーとしま２」に乗って

十島村教育委員会　教育長　有村　孝一

【鹿児島南埠頭】

待望の「フェリーとしま２」の初航海が4月2日の第１次航となりました。毎年この便は、十島村の学校に赴任する先生方を任地へと送り届ける便となっています。今年もまたその役を果たしてきました。

夜9時30分、南埠頭は大賑わいを見せていました。埠頭のあちこちでは、例年のように校歌を歌う声や万歳と叫ぶ声がとぎれなく聞こえてきます。何回も何回も歌っています。今年の赴任の様子で、今までとは少し違ったことがありました。新船には、遊歩甲板がありません。恒例になった横断幕を張るところもありません。それに、紙テープを投げることもできません。前もってお願いしていたとはいえ、どうなることかと気になっていました。

しかし、それは心配ありませんでした。見送る人たちは、埠頭のあちこちに手で横断幕を張り、先生方を囲んで見送りのセレモニーをする姿が見られました。紙テープなどなくても、お互いに気持ちは通じあっているようでした。大声で歌い、涙する中学生。おそらく先生に大変お世話になったのでしょう。別れる今、その感謝の思いが込み上げてきたに違いありません。名残は尽きない深夜11時、新船「フェリーとしま２」は、大きな汽笛とともに南埠頭を離岸していきました。

4時30分の汽笛で目が覚めました。とても快適で早い口之島到着でした。朝まだ早い時間から大勢の島の方々の出迎えを受けて、新任の先生方もやや緊張気味でした。船は、次々に島をわたっていきます。それぞれの趣向をこらした演出で、セレモニーがなされていきます。新船は、静かに静かに南下していきます。乗り心地はとてもいいです。

これまで、児童生徒数5人だった平島では、山海留学生も降りて、5人が加わり10人となり、たいへんにぎやかになりました。悪石島では、恒例になった「ソーラン節」が披露され港が活気づきました。最終の宝島では大勢の方々が出迎えに来ていただき、自治会長さんの歓迎のあいさつに、赴任した先生方は、目を輝かせてこれからの宝島での生活に思いをはせているようでした。

【諏訪之瀬島】

この赴任の様子を、MBCテレビの方が取材をしてお

【宝島】

られ、「十島村の星になれ～22人の先生の船出～」というタイトルで、4月7日「ズバッと！鹿児島」の番組で放送されました。見逃した方は、MBCのホームページで見ることが出来ます。

先生方は、初めて島を目の当たりにして、気を引き締めているように感じられました。日頃は、荒れるトカラの海も先生方を歓迎しているかのごとく穏やかでした。これからの先生方の活躍に期待するものです。心に残る初航海でした。

## 平成30年度転入教職員宣誓式

４月2日（月）午後２時、十島村役場４階大会議室で転入教職員宣誓式が開催されました。肥後村長荒田教育事務所長、有村教育長の激励の言葉の後、転入教職員を代表して、野村(平島小・中学校)校長が、困難があろうとも微笑みを以て、子どもたちや地域の皆様とともに、一生懸命取り組む決意を述べられました。

転入職員一人ずつの挨拶では、不安よりも子どもたちの待つ学校へ赴任する意欲が感じられました。

平成３０年度は、児童生徒数が８９人、教職員数は６１人です。 昨年度も多くの新聞記事やテレビ・ラジオの取材を受け、十島の教育の素晴らしさを広めることができました。今年度も新しい先生方の力で、子どもたちを輝かせてくれると期待できる宣誓式でした。

## 小学５・６年生も英語授業が始まりました！

４月１８日（水）、小学校５・６年生が本格的に学ぶ英語授業が始まりました。この事業は、平成３２年度から始まる小学校新学習指導要領の移行措置として先取りして措置として、本年度から取り組むものです。

役場会議室と学校間でＴＶ会議システムを使って、講師のオースティンさんと各学校の先生方が連携しながら学習を進めました。

毎週水曜日の５・６時間目に実施しますが、放課後は、中学生が英語を楽しむ時間になっています。生徒たちの英語に対する興味・関心・意欲も、これまで以上に高まっているようです。

## シリーズ――新聞に投稿
（平成３０年４月１６日南日本新聞掲載）

### 下学年をひっぱる　　諏訪之瀬小4年　濱崎理衣斗

「下学年をひっぱる」。これがぼくの４年生の目標です。

同じふく式学級で学ぶ３年生は、新しい学習が始まるので分からないこともたくさんあると思います。だから、分からないことを教えてあげられる、やさしい４年生になりたいと思います。そのためにはまず、何を教えればいいか、どのように教えればいいかを、上級生を見ながら学ぼうと思います。

自分ができていなければ、教えることはできません。先生に言われる前にノートに日付を書いておく。委員会の時に、自分のいすだけでなく他の人の物もかたづける。やり直しがあった時には、すぐに終わらせる。かんたんなことでも、自分から進んでしっかりとできるようにしたいと思います。

しんらいされるりっぱな４年生を目指し、高学年となる自信を高めていきたいです。

## 「部落差別解消推進法」（H 28.12.16）を知っていますか？

「部落差別の名称を使った初めての法律です。

◎現在もなお、部落差別が存在するという国の認識が明確に示されました。【第１条】
◎日本国憲法の理念からも、部落差別は許されないこと、解消することが重要な課題であることが示されました。【第１条】
◎部落差別解消のための教育及び啓発の必要性が明記されました。

そっとしておいても　差別はなくなりません。何が差別になるのかを、きちんとしらないままでは、その子どもが大人になった時に、また繰り返してしまいます。

まずは、大人一人一人が人権問題を正しく理解し、こどもたちにも正しく伝えていくことが大切です。（県教育庁社会教育課）

## シリーズ―― 十島村で学ぶ
### 諏訪之瀬島が私を成長させてくれている
諏訪之瀬島小6年　　濱崎　彩夏

私は、卓球をすることが大好きです。クラブ活動でも、卓球をしていました。スマッシュが決まったときは、うれしさがおさえきれず、ついガッツポーズをしてしまいます。また、下学年の子どもやすわっこ園の子どもと遊ぶことも大好きです。「ありがとう。」や「また遊ぼう。」なんて言われると、恥ずかしいですが、とても温かい気持ちになります。

私の通う諏訪之瀬島小・中学校では、小学生と中学生のみんなで、十分間の朝ランをしています。昼休みは、子どもと先生が一緒にサッカーをしたり、五・六年生で企画した昼遊びを月に二・三回にやったりしています。

朝から帰るまで、みんなが一緒で、とても仲の良い学校です。

諏訪之瀬島は、自然がたくさんで、島民がみんなやさしいです。大人と子どもがいつも助け合っています。文化祭や体育大会、タケノコ採りや道普請に夏祭りに水源地清掃など、みんなで参加します。いつも笑顔がいっぱいで、楽しいことばかりです。

私は今年、児童生徒会副会長になりました。私の目標は、みんなをまとめ、学校をもっとよくするために、立ち止まって元気よくあいさつをするなどあたり前のことができ、友達思いの学校に、児童生徒会会長と協力して、諏訪之瀬島が私を成長させてくれたように、今度は私が、みんなのお手本となる行動をして、もっともっと良い学校にしていきます。

## 【中之島小・中学校からのメッセージ】
教頭　平山　晃

昨年４月に中之島小・中学校の新任教頭として赴任しました。離島での生活は、今回が２回目になります。前回の離島に初めて降り立った際は、特に歓迎も何もなく拍子抜けしたことを覚えています。しかし、今回は違いました。全校児童生徒による御岳太鼓での熱い歓迎を受け、胸が熱くなったことを昨日のように覚えています。正直、赴任が決まってからは、今までと違う管理職への不安が期待よりも大きくあったのですが、御岳太鼓の熱いリズムが、不安感を一掃してくれました。また、４月当初は事務処理に追われ、目の前の仕事を行うだけで精一杯で、不安感をもつ余裕すらありませんでした。少しずつ、事務処理が速くなるにつれて、教頭としてのいたらなさが分かり始めました。校長先生をはじめとして、職員や島民の皆様に教え諭していただく日々が勉強の毎日です。

また、昨年は約３０年ぶりに開催される大きな行事が中之島で二つ開催されました。小学校七島集合学習と村民体育大会は、広大な海によって地理的に離れている児童生徒や村民が交流を行い、心を一つにするよい機会になったと思います。両大会に微力ながら携われたことは、本当に幸運でした。

## 『教職員であるあなた』への私からのメッセージ

十島村の学校は、小・中併設であり極小規模校です。また、離島ならではの教育課題や生活する上での不便さを感じることがあると思います。しかし、これを課題や不便と捉えるか、良い機会として捉えるか気持ちのもち方一つだと思います。十島村でしかできない経験ができる喜びを自らが味わうとともに、子どもたちとともに成長できるように頑張りましょう。

子ども読書週間
（4/23 ～ 5/12）
平成 30 年度標語
「はじまるよ！
本のカーニバル」

## 巡回図書を御利用ください！

・セブンアイランド図書
・県立図書館図
※幼児・児童生徒・一般成人用があります。

## 子供のうた
（3/25：南日本新聞掲載）

ムロアジをつった

つりざおがおもいな
つりざおがおもいな
大きい大きい魚だぞ
ぜんりょくで　ぜんりょくで
がんばるぞ
つりあげた
ムロアジだ
早くお母さんに見せたいな

（諏訪之瀬島小２年　沖園　豪陽）

【十島村教育委員会事務局職員紹介！】
よろしくお願いいたします。

◎教育長：有村孝一　　○教育総務課長：安藤浩樹
○主　事：牧元敦志　　○学校教育指導監：今村徳幸
○社会教育指導員：和田章一
○村誌編集委員　井上俊英、麓純雄
※学校事務主幹：福屋正幸、事務主査：堂園恵理
栄養教諭：大村ひさ子